

谷町四丁目駅

60分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

谷町線・中央線 谷町四丁目駅

なにわのみや

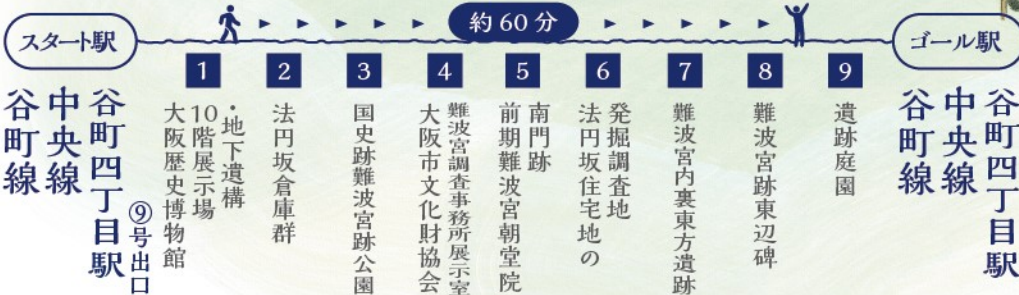
難波宮ロマン紀行

大都市に埋もれた 幻の宮殿跡をめぐります

7世紀中頃の飛鳥時代、孝徳天皇は難波へ遷都して難波宮(前期)を造り、8世紀はじめの奈良時代には聖武天皇が再び難波宮(後期)を造営しました。大阪は古代に2度にわたって首都になったのです。大都市の真ん中に眠る古代宮殿ロマンを訪ねます。



山根徳太郎博士



『日本書紀』に言及されている難波宮ですが、所在はずっと不明でした。難波宮の発見に10年にわたり、私財を投げ打ち執念ともいえる情熱で発掘を続けたのが山根徳太郎博士。昭和36年(1961)、法円坂で南面中央階段を発掘、博士は「われ、幻の大極殿を見た」と心の中で叫びました。

新型コロナウイルス
感染拡大防止のために

- 体調が優れない場合のご参加はお控えください。
- マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
- 混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

谷町四丁目駅
60分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

谷町線・中央線 谷町四丁目駅

なにわのみや
難波宮 ロマン紀行

大都市に埋もれた幻の宮殿跡をめぐります

7世紀中頃の飛鳥時代、孝徳天皇は難波へ遷都して難波宮(前期)を造り、8世紀はじめの奈良時代には聖武天皇が再び難波宮(後期)を造営しました。大阪は古代に2度にわたって首都になったのです。大都市の真ん中に眠る古代宮殿ロマンを訪ねます。

スタート駅

約 60分

ゴール駅

谷町線・中央線谷町四丁目駅⑨号出口

谷町四丁目駅

1 大阪歴史博物館 10階展示場・地下遺構

大阪歴史博物館は難波宮の跡地に建っています。10階の「古代フロア」には、奈良時代の大極殿(朝廷の正殿)が実物大で再現され、左大臣橘諸兄が、難波宮に遷都するという聖武天皇の勅命を宣言しています。地階には発掘された遺構がそのまま保存されていて、ガイドツアーで詳しく知ることができます。



2 法円坂倉庫群

難波宮建造の200年ほど前に、このあたりには16棟の高床式倉庫が並んでいました。大陸からの物資が、近くまで迫っていた海から陸揚げされて収蔵されていたのでしょう。そのうちの1棟が再現されています。



3 国史跡難波宮跡公園

前期と後期の難波宮は、ほぼ重なった位置にありました。儀式や謁見を行う正殿が大極殿で、その北に天皇の住居である内裏があり、南には中庭を挟んで政務を執行する朝堂院の建物がありました。公園には後期難波宮の大極殿基壇が復元されています。内裏の位置は中央大通より北側の大阪城公園にかかっています。前期難波宮では、大化2年(646)正月1日に大化改新の詔が発せられ、大化という日本最初の元号が定められました。



4 大阪市文化財協会 難波宮調査事務所展示室

大阪市文化財協会は難波宮跡や大坂城跡はもちろん、森小路遺跡、森ノ宮遺跡ほか多くの大阪市内の遺跡・遺物を発掘調査している一般財団法人です。展示室には、難波宮跡から出土した重要な遺物が展示されています。山根徳太郎博士の人物パネルもあります。見学は事前に連絡を(平日のみ・電話06-6943-6833)。

5 前期難波宮朝堂院 南門跡

ここで発掘された朝堂院南門跡を示す説明板があります。南門は、東西方向に柱間が5つある格式の高い門で、両側に回廊が延びていることがわかりました。植栽のなかに柱の位置が円柱の石で示されています。



6 法円坂住宅地の発掘調査地

難波宮東側のマンション住宅地は、朝堂院に所属する役所の区画になっていたと考えられ、多くの建物跡が発掘されました。また、平坦地を確保するために小規模な谷が埋められ、溝が掘られるなど土木工事跡も見つかりました。このあたりは、豊臣期に大名が屋敷を構えた大坂城三の丸に含まれていたと考えられます。



7 難波宮内裏東方遺跡

「アネックスパル法円坂」の建設工事で、前期難波宮の回廊や塀などの跡が見つかり、さらに東側でも回廊や高床式倉庫、望楼などの建物跡が発見されました。これらは宮殿の周囲に役所が配置されていたことを示しており、国家形成期の古代史を考える上で貴重な発見です。駐車場内に説明板があります。



8 難波宮跡東辺碑

このあたりが難波宮の東端だと考えられています。遺跡発掘場所は遊歩道として整備され、地下に発掘された難波宮の柱穴が保存されています。



9 遺跡庭園

KKRホテルにある遺跡庭園では、前期難波宮の建物跡が発掘されています。庇のある建物なので、貴人や役人の住居と考えられています。建物の柱の位置が石の円柱で示されています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2021年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室前に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

